

【ロジックモデル】脱炭素社会構築のための資源循環高度化設備導入促進事業（リサイクル推進室）

令和2年10月14日時点

課題／目的

「プラスチック資源循環戦略」においては、2030年に容器包装6割リユース・リサイクル、再生材利用倍増、バイオマスプラ200万t導入等のマイルストーンが掲げられている。一方、足下では国内でのリサイクル割合は3割程度、バイオマスプラスチック国内導入量は約8万t程度にとどまっており、制度的対応とあわせて支援策が課題。また、今後の再エネ主力電源化に向け排出が増加する太陽光発電設備・高電圧蓄電池等にはリサイクル困難なものがあり、高度リサイクル設備の社会実装が課題。

このため、高度リサイクル設備等の省エネ設備導入支援によりリサイクル量、バイオマスプラ導入量の増加を支援し、資源循環の高度化を通じた脱炭素社会の構築を目指す。

- ・2018年プラスチック製品の生産・廃棄・再資源化・処理処分の状況（一般社団法人プラスチック循環利用協会）
- ・令和元年度 再生材等の利用促進に関する調査
- ・令和元年度JORA・JBPA会員企業へのバイオマスプラ等の利用アンケート
- ・各種リサ法目標達成状況
- ・太陽光発電設備のリサイクル等の推進に向けたガイドライン
- ・（一社）自動車工業会資料

インパクト

- ・プラスチックの有用性を享受しつつ持続可能な社会（化石資源とのデカップリング、海洋流出ゼロ、リサイクル工程の脱炭素化）の実現。
- ・再エネ関連設備のライフサイクル全体を脱炭素化する。

- ・バージンプラスチック出荷量
- ・プラスチックの海洋流出量
- ・再生材の国内利用量
- ・バイオプラの国内出荷量
- ・リサイクル関連産業市場規模

インプット

- 【予算】 令和3年度：12,600百万円（要求額）
- 【実施期間】 令和3年度～令和5年度
- 【補助先】 民間事業者・団体等

アクティビティ

1. プラスチックの高度リサイクル・再生利用等設備導入事業
これまでリサイクル困難だった廃プラスチックについての高度マテリアルリサイクル・石油精製設備等を活用したケミカルリサイクル設備、再生材利用製品製造のための省CO2型設備の導入補助
2. バイオマスプラ等導入設備の支援事業
バイオマスプラ等のプラスチック代替素材の製造・利用に係る省CO2型設備の導入補助
3. 再エネ関連設備のリサイクル設備導入事業
太陽光発電設備・高電圧蓄電池等、再エネ主力電源化に関連する製品の省CO2型リサイクル高度化設備（破碎・選別等）の導入補助

アウトプット

- ・省CO2型のリサイクル設備・バイオマスプラスチック等製造設備導入によるエネルギー起源CO2排出削減効果に加え、プラスチックリサイクル量、バイオマスプラ等導入量、再エネ関連製品のリサイクル量等の増加
- ・リサイクル設備・バイオマスプラスチック等製造設備導入費用低減

アウトカム

- 【短期】
 - ・エネルギー起源CO2排出削減
 - ・プラスチック、再エネ関連設備に係る再生材・再生可能資源の生産拡大・価格低減による需要喚起
 - ・プラスチック、再エネ関連製品に係る最終処分量の減少・リサイクル量の増加
- 【中期】
 - ・エネルギー起源CO2排出削減の拡大
 - ・「プラスチック資源循環戦略」のマイルストーン達成
 - ・再エネ関連設備のリサイクルの拡大
- 【長期】
 - ・2050年80%削減に向けた脱炭素型プラスチック資源循環、再エネ関連設備の資源循環の達成
 - ・リサイクルビジネス・資源循環の活性化

高度リサイクル設備や、バイオマスプラスチック製造設備の導入を促進するため、事業者ヒアリングや過去事業の実績から必要な設備投資を補助。

・プラスチック資源循環戦略のマイルストーン、再エネ主力電源化に向けプラスチックリサイクル拡大、バイオマスプラ等の利用拡大、再エネ関連設備のリサイクル拡大が必要だが、コストの高止まりにより設備導入がボトルネックとなって社会実装が進みづらい状況であることをヒアリングにより確認している。
・設備導入支援により、リサイクル量、バイオマスプラスチック導入量の増加を加速化させることが必要。

- ・省CO2型リサイクル設備等の年間導入件数：40件程度
- ・省CO2型設備導入により、3年間で約290万tCO2削減
- ・プラスチック再生利用量を、3年間で20万トン増加

- 短期 事業終了後のCO2削減量・廃棄物量・再資源化量
- 中期①「プラスチック資源循環戦略」マイルストーンの達成度検証
 - ・2030年容器包装6割リユース・リサイクル
 - ・2030年再生材利用量倍増
 - ・2030年バイオマスプラ約200万トン導入（検証作業の具体化によって今後更新予定）
- ②再エネ関連設備のリサイクル達成度検証
- 長期 脱炭素型プラスチック資源循環、再エネ主力電源化製品の資源循環の達成度検証（検証作業の具体化によって今後更新予定）